

(様式1)

あたまホーム運営推進会議報告書

開催日時	令和5年9月29日(金) 15時00分～15時30分	
場 所	玉川ホーム 会議室	
参加者	議 題	
利用者 名	1 報 告	
利用者の家族 1名	(1) 施設の現況について	
地域住民の代表者、 知見を有する者 1名	2 意見交換	
郡山市の職員 名		
熱海地域包括支援センター職員 1名		
事業所 2名		
会 議 録		
1 報 告		
(1) 施設の現況について		
・ 利用状況 別紙のとおり		
・ 活動状況 別紙のとおり		
2 意見交換		
(園長)(利用者のご家族)からご意見などありましたらお願いします。		
(利用者のご家族)ちょうど世間で新型コロナウイルスが流行している年に入所したので、ユニットにも行けず、どういう所なのかもわからない状況でした。毎月送っていただいている冊子と、時折送られてくる写真を楽しみに見えています。面会も後々には土、日も含め、面会時間、回数についても増やしていただけたらと思っています。直接面会は直に顔を見ることができると、職員の方の近況報告と(母の)服装や爪や整髪もきちんとしていることに感謝し、安心しています。		
(園長)制限がある中、ご理解いただきありがとうございます。回数につきましてはキャンセルがでることもありますので、ご相談いただければと思います。(地域包括支援センターの職員)、最近の状況はどうでしょうか?		
(地域包括支援センターの職員)コロナ前は要支援の方が多かったのですが、コロナ禍で要介護になる方が増えてきた印象です。認知症の方も増えていますが、介護サービスを考えたときに熱海地区は社会資源が少ないので、あたまホームなどの介護サービスにより助かっているところが現状です。		
(園長)認知症の方を支援するため、ショートステイを依頼したケースはありますか?		
(地域包括支援センターの職員)ご家族の具合が悪くなった、急遽予定が入り不在になった場合などに、ショートステイ利用について相談したことはありました。		
(園長)当ホームでは、緊急でショートステイを受け入れた実績がありますので、		

ご相談していただければと思います。(地域住民の代表)、地域のボランティアの状況はどうでしょうか？

(地域住民の代表) この夏は暑さも厳しく、救急対応が2～3回ありましたが、今年は、コロナ禍で中止になっていた運動会を屋外で行うことができました。

(園長) 自宅にいても熱中症になる方もいたと思いますが、少しずつ前の状況に戻りつつあるということですね。ホームでは、7回目のコロナワクチン接種が始まりました。ただ、ワクチンの供給が足りなく、以前の様に一斉に接種ができる状況ではありませんので、希望者とワクチンの需要を考えながら進めています。季節の変わり目でもありますので、引き続き利用者様の健康管理と感染対策に努めて参ります。本日は貴重なご意見、ご要望をいただきありがとうございました。